

あすならホーム桜井

(認知症対応型共同生活介護)運営推進会議議事録

開催日時	2019年3月16日(第9回) 10:00 ~ 11:00																	
運営推進会議メンバー (本日の参加者)	利用者・家族:2名		地域代表:2名															
	市・包括職員:1名		職員:3名															
利用者登録状況	<table border="1"> <tr> <td>要支援2</td> <td>要介護1</td> <td>要介護2</td> <td>要介護3</td> <td>要介護4</td> <td>要介護5</td> </tr> <tr> <td>0名</td> <td>2名</td> <td>6名</td> <td>7名</td> <td>1名</td> <td>2名</td> </tr> </table> <p>新規登録者:2名 入院者:0名</p>						要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	0名	2名	6名	7名	1名	2名
要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5													
0名	2名	6名	7名	1名	2名													
報告事項	<p>◎ホームの取り組み</p> <ol style="list-style-type: none"> さくら幼稚園への挨拶と茶会招待 <ul style="list-style-type: none"> 2月、さくら幼稚園を訪問し、園長及び先生方への挨拶と意見交換をおこない、3月の茶会に招待を受けることになったが、幼稚園側の都合により、今回の開催が中止となった。 事業所の評価 <ol style="list-style-type: none"> 1月末に外部評価機関から確定報告があり、問題点は無く、次のステップに向けて期待したい内容として、以下の2点、指摘をいただいた。 <ul style="list-style-type: none"> 事業開始してまもなく2年、より地域とのつながりを深めるためにも、地域の学校や保育園との交流ができればさらに良いと思われる。 家族アンケートからは食事後のアクティビティーの要望があり、家族の思いを聴きだす取り組みが望まれる。 今後、指摘について達成できる計画を協議して、作成していく。 地域住民によるリハビリ体操への参加、ランチ参加への働きかけ <ol style="list-style-type: none"> 2018年5月から近隣住民の方7~10名が、週に1回程度、あすならホーム桜井で、毎日午前中に実施しているリハビリ及び口腔体操に参加。 2018年9月から月1回、ランチ企画に住民3~4名がリハビリ体操・口腔体操への参加後、自分たちで考えたメニューを調理し、昼食として食している。その際、「まちかどネット桜井」メンバーから支援を受けている。1~3月は参加者の都合で、休止。 今後も、ランチ、介護相談、買い物バスなどの取り組みを通じて、地域住民へのお役立ちをしていく。 「いきいき体操」への参加 <ul style="list-style-type: none"> 2018年11月1日から、毎週、「いきいき体操」に職員とともに、ホームの入居者3名と職員1名が参加。地域住民から参加を歓迎されている。 入居者の様子 <ul style="list-style-type: none"> お出かけ、いきいき体操への参加、傾聴ボランティアの方からの支援、お手伝い(掃除、洗濯もの干し・たたみ、食器洗い、写真切り、縫物、草引き、リハビリ体操の準備・後始末(備品準備、机移動)、畑仕事など長年していたことは体に染みついておられるようで、お手伝いに参加。これからもそういう機会をつくる。 感染症予防 <ul style="list-style-type: none"> 感染症予防月間を11~3月に設定。予防のため、入居者、訪問者、職員に対し、手洗い・うがいを奨励。また、入居者、職員はインフルエンザ予防接種。インフルエンザ発症(入居者:ゼロ。職員:2人)、ノロウイルス発症:なし 行事、その他 																	

	<ul style="list-style-type: none"> ・ランチ企画。買い物バス（1・2月地域の対象者2名、のべ7回利用）。家族（一般）の面会者数は、1月のべ136名（9名）、2月のべ151名（13名）。 8. 新規事業 <ul style="list-style-type: none"> ・地域密着型サービスである小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、グループホームの4事業を桜井市から受託したこと、各事業の概要について説明した。 9. 情報 <ul style="list-style-type: none"> (1) 厚生労働省委託事業をされている地域若者サポートステーション「やまと」（奈良県で2カ所のうちの一つ）の取り組みに賛同して、職場体験の実施受け入れについて、協力していくことになった。 (2) 認知症サポーター養成講座を受講された方を対象に、理解をさらに深め、地域で行動に移すための連続講座「D - SCHOOL」におけるフィールドワーク（介護サービス事業所見学）先として、3月に協力していくことになった。 <p>◎虐待防止の取り組み 職員対象の1～2月業務推進会議・夜勤者会議・医務会議で、虐待及び拘束事例が発生していないことを報告し、確認した。</p>
今後の予定	<p>◎ホームの予定</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域学習会（ひまわりサロン）の開催予定 <ul style="list-style-type: none"> ・3月26日（火）粟殿東公民館 13：30～15：00
評価・要望・意見等	<p>◎家族さんとケアの近況をお話したこと等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者・家族 <ul style="list-style-type: none"> (1) 本人との面会を終えて帰る際、切なくなる。あすならホーム桜井（以下、ホーム）の対応は、良くしてくれているので、感謝している。時折、本人は暴力・暴言を発するが、ホームから追い出されないか心配？ ⇒本人の「住まい」として、原則、看取りまで関わっていく。 (2) 個人的に、頻繁な面会は好ましくないと思う。ホームからの連絡は、以前に比べ、大切な事項に絞った場合となったと思われるので、気持ちが楽になった。お出かけでストレス軽減されるので、考慮してほしい。 ⇒お出かけは一律でなく、本人の要望や体調等を踏まえ、企画している。 2. 地域代表 <ul style="list-style-type: none"> (1) ①利用者が使用する消耗品で不足した場合は、家族が持参するまで待つのか？⇒必要な物は、一旦、施設で立て替えて対応。 ②小規模多機能型居宅介護サービスの仕組みについて？⇒「泊り」「通い」「訪問」を同じ環境とスタッフで暮らしを支援。 ③外部評価で、地域の学校等との交流推進について指摘があったが、若い世代に、福祉に関心を持ってくれる機会になればと期待する。 (2) 高齢の母と同居しているが、認知機能は低下していくので、その事実を受け入れられない自分との葛藤がある。この会議で体験談を聞くことで前向きになれる。 3. 市・包括職員 <ul style="list-style-type: none"> (1) 桜井市地域包括ケア推進室主催の連続講座「D - SCHOOL」を開催しているが、受講後の活躍の機会をつくる協力をしてほしい。
その他必要な事項	<p>◎身体的拘束等の適正化のための対策を検討する委員会等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 定型的に、2018年5月から業務推進会議（月1回、施設の全職員対象に開催）の中で、虐待防止委員会を開催し、虐待防止に関する学習、毎月の入居者の行動を制限するような事例の有無を報告している。 2. 2017年5月事業開始以降、緊急やむ得ない場合も含め、2019年3月15日現在、入居者の行動を制限するような事例は発生していないことを報告した。

次回開催予定：2019年5月18日（土）（場所：あすならホーム桜井 2階会議室）